

検診（健診）を受けた後は

検診結果を受け取る

- 個別検診の場合
受け取り方法は受診した医療機関でご確認ください。
- 集団検診の場合
受診日から約1か月後に、結果がご自宅に郵送されます。

必要に応じて精密検査・治療・保健指導を受ける

- 各検診の精密検査方法・お勧めの診療科は下記をご覧ください。
- 特定健康診査で保健指導該当となった方は、特定保健指導を受けてください。

各がん検診の精密検査方法

お勧めの診療科

精密検査方法の例

胃がん検診 【消化器内科】等

【胃内視鏡検査】内視鏡で胃の内部を直接見て、がんが疑われる場所の広がりや深さを調べる検査です。疑わしい部位が見つければ、生検（組織を採取し、悪性かどうか調べる検査）を行う場合もあります。

肺がん検診 【呼吸器内科】等

【CT】X線を使って病変が疑われた部位の断面図を撮影し、詳しく調べます。
【気管支鏡検査】気管支鏡を口や鼻から気管支に挿入して病変が疑われた部分を直接観察します。必要に応じて組織を採取し悪性かどうか診断します。

大腸がん検診 【消化器内科】等

大腸がんの出血は間歇性（出たり出なかったり）のため、便潜血反応の再検査では、確定診断をすることはできません。
【全大腸内視鏡検査】下剤で大腸を空にした後に、肛門から内視鏡を挿入して大腸を撮影し、がんやポリープなどがいないか調べます。必要に応じて組織を採取し悪性かどうか診断します。
【内視鏡検査と大腸のX線検査の併用法】大腸全体を内視鏡で観察することが困難な場合には、内視鏡が届かない奥の大腸をX線検査で調べます。下剤で大腸を空にした後に、肛門からバリウムと空気を注入し、大腸全体のX線写真をとります。
【大腸CT（大腸コロノグラフィ）】大腸を炭酸ガスで膨らませ、最新のCT装置で撮影することで大腸の中を観察します。

子宮がん検診 【婦人科】等

【コルポスコプ検査】コルポスコプ（膣拡大鏡）を使って子宮頸部を詳しく見ます。異常な部位が見つければ、組織を一部採取（組織診）して悪性かどうかを診断します。
【HPV検査】子宮頸部から細胞をこすり取り、子宮頸がんを引き起こすウイルスの有無を調べます。

乳がん検診 【乳腺外科】等

【マンモグラフィ追加撮影】疑わしい部位を多方面から撮影します。
【乳房の超音波検査】超音波で疑わしい部位を詳しく観察します。
【細胞診・組織診】疑わしい部位に細い針を刺して細胞や組織を採取し、悪性かどうか診断します。

前立腺がん検診 【泌尿器科】等

【直腸診】肛門から指を挿入して前立腺の状態を確認します。
【前立腺超音波検査】肛門から専用の超音波器具を挿入して前立腺の状態を調べます。
【前立腺生検】細い針で前立腺を刺し、6ヶ所以上から組織を採取し調べます。

※精密検査の受診先については、検診を受けた医療機関または保健センターにご相談ください。

蟹江町国民健康保険特定健康診査の対象で人間ドックを希望される方へ

特定健康診査を受診せずに人間ドックを受けられた方に助成を行います。

対象者	人間ドック受診日において蟹江町国民健康保険に加入している40歳～74歳の方で、下記の検査項目をすべて検査する人間ドックを受診した方
受診期間	令和3年6月1日（火）～10月30日（土）
受診場所	人間ドック実施の医療機関（検査項目全てが1つの医療機関で受けられること）
助成金額	1人 5,000円
申請に必要なもの	(1) 特定健康診査受診券（未使用のものに限る） (2) 人間ドック受診結果報告書（コピー後にお返しします） (3) 人間ドック受診領収書（コピー後にお返しします） (4) 振込先のわかるもの（申請者名義の銀行口座）
申請期間	令和3年6月1日（火）～11月30日（火）
申請場所	蟹江町保健センター

助成に必要な人間ドック検査項目一覧（検査項目が不足する場合は助成できません）

1 診察【問診・聴打診・血圧測定】	2 身体計測【身長・体重・標準体重・肥満度・体格指数（BMI）・腹囲】
3 眼科・耳鼻科系【視力・眼圧・眼底・聴力】	4 呼吸器・循環器系【胸部X線・肺機能・心電図】
5 消化器系【胃部X線又は胃内視鏡・腹部超音波・便潜血】	6 血液学的検査【白血球・赤血球・血色素・血小板・ヘマトクリット】
7 生化学・免疫学的検査	肝機能【GOT・GPT・γ-GTP】 脂質【中性脂肪・HDL-コレステロール・LDL-コレステロール】
	糖代謝【空腹時血糖又はHbA1c・尿糖】 腎機能【尿蛋白・BUN・血清クレアチニン】